

国見の丘時評

介護施設のキックボクサー



去る6月10日に、平成22年3月保健福祉学科卒の若山立嗣氏が学長室を訪問して下さいました。彼は、紛れもない現役のキックボクサーで、5月6日後楽園ホールにおけるJ-NETWORK株式会社主催キックボクシング大会、スーパーフライ級タイトルマッチで、見事全日本チャンピオンに輝いた。彼は、指導教員であった高戸仁郎教授を、軽い一蹴りでプロテクターごと「ぶっ飛ばす」キック力を持ち、上腕二頭筋は石のように固い。彼のすごい所は、高戸教授の勧めに従い、在学中から勉学に励み、介護福祉士の資格を取得したことである。今も彼は普通に介護施設で働きながら、学生時代と同じ仙台のジムに夜間通い詰め、タイトルマッチを制したわけである。格闘技の闘士とは思えぬほど優しい笑顔の持ち主で、介護施設のお爺さん、お婆さんが応援団になるのだそうだ。

こんな同窓生が私たちの大学に在籍していることを、学長として心から誇りに思う。

東北文化学園大学
学長 土屋 滋



2013.6.10 学長室にて

《お願い》 住所変更をお知らせください

本会では、同窓会報を始めとする各種ご案内を会員の皆様へお送りしております。ご住所、お名前の変更があった場合には、本会へお知らせください。変更の情報は、同窓会公式WEBサイトから、もしくは郵送にてご連絡をお願い致します。

【問い合わせ先】
東北文化学園大学同窓会事務局
仙台市青葉区国見6丁目45-1
大学事務局教務部学生課内
電話 022-233-6194

※お預かりした個人情報は同窓会活動のみに利用し、名簿の販売・頒布は行いません。

携帯サイトはこちら▶



同窓会費の納入について

本会は、会員の皆様からの会費により運営を行っております。入学時に入会金として5,000円、卒業時に終身会費10,000円の納入をお願いしております。まだ会費を納入いただけていない場合は、会費の納入をお願いいたします。

【会費振込先】
仙台銀行本店営業部
普通預金 4755741
トウホクフン カ ガクエンダイ ガクドウソウカイ
東北文化学園大学同窓会

※お振込の際は、学籍番号とお名前を必ずご入力ください。学籍番号は同窓会報送付封筒に印字しております。
※恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

同窓会WEBサイトを ご利用ください

2010年より、同窓会公式WEBサイトでは、同窓生に関わる情報や学園のイベントなどを皆様にお届けしています。また、会員同士が自由に情報を発信し交流ができる、「同窓生の輪」というコンテンツもあります。短大、大学の卒業生が未永く、縦・横の繋がりを維持し支え合っていくために作成されました。皆さんどんどん活用してくださいね!!

携帯サイトはこちら▶



あとがきにかえて

自分の中の「あの頃」

平成21年3月 医療福祉学部保健福祉学科保健福祉専攻卒業
東北文化学園大学・教務部学生課勤務
同窓会理事 岩淵 史義

皆さんは「あの頃」と聞いて何を思い浮かべますか？
私は大学を卒業して4年経ちますが、ふと、卒業アルバムをひっぱり出し、「あの頃」の写真を見ながら懐かしむことがあります。学生時代に仲の良かった友人と集まれば、お互いの近況や「あの頃」の話で盛り上がります。趣味の場で出会って仲良く

なった人が、実は卒業生だったということが分かり、驚きながらもお互い「あの頃」の話に花が咲いたり。私の周りには「あの頃」がたくさんあります。

同窓会の輪は広がる一方です。どんどん広がるこの輪に共通するものは「あの頃」。年代は離れていても、お世話になった先生や国見の丘から見えるこの風景は、「あの頃」のままだと思います。ぜひ先生に会いに来たり、校舎を見に来たりなどして、自分の中にある「あの頃」を感じてもらえればと思います。

そして、この同窓会報が「あの頃」を感じるきっかけとなれば幸いです。



TOHOKU BUNKA GAKUEN UNIVERSITY

東北文化学園大学

輝 KIRARI

TBG 同窓会報

TBG Alumni Association News

vol. 7

[2013.9.1]

Contents

活躍する卒業生	2-3
平成24年度事業報告・決算報告	4
平成25年度事業計画・収支予算書	4
学生部長紹介	5
東北文化学園大学同窓会総会開催のお知らせ	5
ホームカミングデーへのご招待	5
平成25年3月卒 同窓会新役員	5
大学近況報告	6-7
恩師から	6
文化学園祭2013 開催のお知らせ	7
国見の丘時評	8
あとがきにかえて	8



オープンキャンパス 2013.8.4

活躍する卒業生

同窓会発足10周年を迎えました。今回は、社会で輝ける者にスポットを当ててみました。様々な分野で活躍する卒業生をお伝えします。

戦う介護福祉士、目指すは世界一。

平成22年3月 医療福祉学部保健福祉学科生活福祉専攻卒業
特別養護老人ホーム泉陵虹の苑 勤務

若山 立嗣

私は、医療福祉学部保健福祉学科生活福祉専攻を平成22年3月に卒業し、介護福祉士を取得しました。

大学では講義や介護技術だけでなく、施設などの実習で貴重な経験ができ、実習先の職員の方や大学の先生方のアドバイスで自分自身を成長させることができました。また、学習以外の面でも先生方に自分自身の夢を親身になって相談に乗っていただいたり、応援していただいたのが今の自分に繋がっています。というのも、大学時代の目標として介護福祉士の取得と共に、幼い頃からの夢であったプロキックボクサーになりたいと考えていたのです。



大学2年生(平成19年)でキックボクシングのプロライセンスを取得しましたが、大学の友達との遊びや勉強を言い訳にして練習をサボった事もありましたし、今思えば、プロ選手としての覚悟や努力が足りなかったと感じます。

卒業してからは介護職に就き、キックボクシングとの両立を行っていましたが、プロの成績は負けが多くなり、途方に暮れる事もありました。そんなとき、施設の利用者から「若いんだから負けたっていいんだよ。いつでもやり直さきくよ。」と声をかけていただいたのが心に残り、夢であったチャンピオンを本気で目指そうと思い、施設を退職しました。その後、アルバイト等で生計を立てていましたが、縁あって知り合いの方に現在の施設を紹介して頂き、昼間は非常勤で働きながら、夜間にキックボクシングの練習に打ち込む事ができました。

そして努力が実り、今年の5月6日、後樂園ホールで行われたJ-NETWORKスーパーフライ級タイトルマッチで4ラウンドKO勝利を収め、念願であったチャンピオンになりました。私はさらに世界チャンピオンを目指し頑張っています。在学生の皆様も夢に向かってお互いに頑張りましょう。



ひととのつながり

平成22年3月 医療福祉学部リハビリテーション学科作業療法学専攻卒業
北福島医療センター勤務

山川 祐輝

私は現在、福島県伊達市にあります北福島医療センターにて回復期リハOTとして勤務し3年目を迎えました。入職当初は震災による病院の半壊、放射線量が高い状況で迎え、決して楽な環境で始められない状況でした。現在では安定をとり戻し日々患者様と向き合う日々を過ごしています。

さて、大学生活では勉強の中身が濃く、特に試験では友達と教えあいながらファミレスで勉強したことをよく覚えています。また、児童サークルでの活動により多くの子供達と触れ、縦横の繋がりも増え、その中で子供達の事を考え活動したことは今でも大切な経験です。多くの友達にも恵まれ、たくさんの思い出とともに充実した生活でしたし、現在でも学会や研修会で会うと元気をもらっている気がします。

そして、私の転機となった東日本大震災。私自身も被災者であり失い…先の見えない生活に恐怖さえ感じました。どうにか地元に帰り平和な街を眺め、自然と涙が止まらなかったことをよく思い出します。被災者となり支えて頂いた方々を思うと自分の無力さを感じ、始めたのが災害ボランティアでした。今度は避難者を精一杯支えようと地元でリーダーとなり当時800人を超える避難者の方々と向き合っていました。ボランティアをする上で何もなく…そんな時やはり形となって現れたのは組織・チームを作るところからでした。統括することはこんなに難しいものなんだ…と改めて感じましたが、人と人のつながりをより強く、よりたくましい絆としていろんな方々と向き合う最高の機会でした。「ありがとう」「助かったよ」と頂く言葉はうれしいものです。

最後になりますが、私の作業療法士としての一番の幸せは、退院される時の患者様の笑顔や病棟に顔見せに来てくれることです。まだまだ「作業療法」とはと悩むことが多い日々ですが、患者様の笑顔や感謝されることが、更に自分を成長させてくれるものと信じています。



と き 今この時代を 生きる

平成8年3月 東北科学技術短期大学 建築設備環境学科卒業
有限会社 加藤建設設備 専務取締役

加藤 政和

現在、地元喜多方市の設備会社にて、現場や経營業務、そして仕事以外での活動に追われながらも充実した日々を過ごしています。東北科学技術短期大学の2期生として卒業し、17年経った今でも感じるのは、短大で過ごした日々が私の人生のベクトルに大きな影響を与えてくれたと自負しています。日々専門分野を学び得られた知識は言うまでもなく、サークルや研究室での経験・交流、そして友人達とのかけがえのない時間、就職活動での人間関係等、その一つひとつを大切に過ごせたからこそ今に活着していると実感しています。

今回、同窓会報への寄稿依頼は私が日々SNSにて投稿している、仕事以外の活動を恩師が読んでくれたからだと思うので、その辺を少し書きたいと思います。現在、私は仕事以外に地域の青年会議所(JC)に所属し活動をしています。JCを知らない人も多いと思いますが、地域づくり、人づくり等を行っている団体です。地域に向けた講演会を開催したり、青少年育成事業を行ったりしていますが、本年は数ある事業の一つとして「子ども絵画コンクール」と題し、被災した福島県の子どもの「夢」を描いてもらう事業を開催し、8000枚以上の夢の詰まった絵画が集まり展示を行いました。こういった事業を開催するにあたり大切なのは、事業の背景・目的も大切ですが、地域や人からの理解や協力、そして何より信頼が不可欠です。これは仕事でも同じ事が言えますし、仕事と同じくその事業単体で終わるのではなく、今後に繋がり様々な展開を生んでくれます。学業や仕事だけにとらわれず、様々な分野で活動することが仕事の発展にも繋がり、自分、そして会社を成長させてくれるものと私は思っています。

最後に、タイトルの「今この時代を生きる」これは私が昨年、JCの理事長時代にスローガンに込めた想いです。今、学生であれ、社会人であれ、今この時代を生きていく強い意志と、勉学や職場の自分だけの狭い環境だけではなく、地域を、日本を広く見渡せる視野を持って仕事や地域活動に励んでいかなければなりません。今後も母校が歴史を紡ぎ、益々発展してくれることと、在校生、卒業生の様々な分野での大いなる活躍を切に願います。



PT人生、 はや10年、まだ10年

平成15年3月 医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法専攻卒業
社会福祉法人 秀峰会 訪問看護リハビリステーション 榎の大樹 勤務

桂 理江子

「国試のために勉強するのではなく、将来、PT になったあなたを待っている患者さんのために勉強しなさい」国試の一ヶ月前、先生がおっしゃった言葉です。今でも患者さんと出会うと、「あのときがあるから、このご縁が生まれた」と感じるがあります。

理学療法士になって色々な出会いがありました。

世界の人はどんな生活をしていて、どんなリハビリを必要としているのか、という好奇心を持つようになったのも、協力隊でチュニジアに派遣された職場の先輩の影響でした。

就職して5年目のときに青年海外協力隊に応募し、中国で活動しました。北京オリンピックが開催され、経済成長のまっただ中にいた中国ですが、都市と地方の格差は大きく、日本で「普通」と思っていたリハビリは通じませんでした。無いものばかりが気になってしまい、自分のいる意味が見いだせなくなっていたとき、患者さんが「(リハビリの治療をしてくれて)あなたにも感謝するけど、あなたのご両親に感謝します。あなたをこのように育て、こうして中国に来ることを理解してくれている方だから。こういう交流がもっと増えると嬉しいね。」という言葉をかけてくれました。足りないものではなく、今「ある」ものに感謝する、という姿勢に気づかれ、また家族の存在の大きさも感じた言葉です。

現在は訪問の仕事をしています。病院を退院した後の生活をどのように過ごしているのかという疑問からスタートしましたが、利用者さんの今の生活は何十年も生きてきた集大成としてあるものです。「生活の場」に介入することの難しさと同時に、その人の人生の一部に関われていることにやりがいを感じながら日々車を走らせています。

はやいもので理学療法士になって10年。これからも訪れるであろう出会いに感謝し、いつでもスポンジのように吸収できる柔軟性をもちながら成長していきたいと思っています。



平成24年度 東北文化学園大学同窓会事業報告

平成24年度同窓会会計及び事業報告について、以下のとおりご報告いたします。平成24年度の同窓会活動は、新たにキャラクター制作のワーキンググループを立ち上げ、活動を始めました。

1. 会報の発行、ホームページ等の管理運営、会員名簿の作成

- (1) 同窓会報発行
- (2) 公式Webサイト管理運営
- (3) 会員名簿の整備・作成

2. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 会費徴収業務
- (2) 会員サービス業務
(入学生向け学園歌CD制作配付、卒業生向け記念品制作・配付)
- (3) 同窓会正会員の大学設備利用と資格取得のための支援
保健福祉学科からのキャリアアップ教育後援の依頼により、保健福祉学科同窓会員の住所データをタックシールにて提供
- (4) キャラクター制作ワーキンググループの立ち上げ

3. 会議及び監査

- (1) 理事会 (5月、9月、1月、3月)
- (2) 代表者会 (10月)
- (3) 会計監査 (5月)

●平成24年度 東北文化学園大学同窓会 決算報告

第10期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

貸借対照表

分 類			科目			金額		
資 産 の 部	A		流動資産			10,665,862		
	1		普通預金			10,635,354		
	2		貯蔵品			30,508		
						10,665,862		
分 類			科目			金額		
負 債 ・ 繰 越 の 部	A		流動負債			3,749,941		
	1		未払金			199,941		
	2		前受金(預り金)			3,550,000		
	B		繰越金			6,915,921		
	1		前期繰越金			7,372,422		
2		当年度繰越金			-456,501			
					10,665,862			

収支計算書

収入の部	分類		科目	金額	支出の部	分類		科目	金額	(予算)
	A		同窓会費	3,560,000		A		事業費	1,590,948	1,914,250
	1		入会金収入	2,840,000		1		会報作成費	770,495	800,000
	2		終身会費収入	720,000		2		懇談会開催費	0	0
						3		会員名簿作成費	9,817	34,000
						4		会費徴収事業費	85,906	131,000
						5		会員サービス事業費	209,065	285,100
						6		ITによる可視化事業費	402,150	402,150
						7		文化学園報出版事業費	107,975	150,000
						8		広告宣伝費	5,540	112,000
B		寄付金	0	B		会議費	377,593	661,100		
1		寄付金収入	0	1		通信費(会議費)	12,320	29,000		
				2		会場費(会議費)	0	0		
				3		交通費(会議費)	150,880	410,000		
				4		雑費(会議費)	2,293	10,000		
				5		監査費	212,100	212,100		
C		その他の収入	1,391	C		事務費	2,049,351	1,850,000		
1		預金利息収入	1,391	1		消耗品費	9,040	12,000		
2		その他の収入	0	2		通信運搬費	8,490	7,000		
				3		印刷費	0	0		
				4		旅費交通費	620	5,000		
				5		人材派遣費	2,003,536	1,800,000		
				6		雑費	8,705	5,000		
				7		振込手数料	15,960	21,000		
				8		その他事務費	3,000	0		
D		前期繰越金	7,372,422	D		その他支出	0	0		
				1		その他支出	0	0		
				E		予備費	0	6,667,571		
				F		次年度繰越金	6,915,921			
						支出合計	10,933,813			

大学近況報告



グリーンカーテン
(図書館南側)
2013.7 撮影



第28回宮城県管打楽器ソロコンテスト金賞受賞
医療福祉学部リハビリテーション学科視覚機能学専攻3年
藍澤 由佳さん



丘の上音楽会
(5号館地下学生食堂)
2013.7.1



看護学科 戴帽式
(1号館地下大講義室)
2013.6.22

サークル

準硬式野球サークル

科学技術学部知能情報システム学科2年 佐藤 淑人

私たち準硬式野球サークルは、約30人のメンバーで毎週水曜日、木曜日、日曜日の週3回、水曜日と木曜日は国見キャンパス内で、日曜日は茂庭にあるグラウンドで限られた時間と限られた場所を有効活用しながら活動しています。準硬式とは、見た目は軟式で中身は硬式で、軟式でもない硬式でもないボールを使用する野球が準硬式野球です。選手全員が野球経験者で活動がない時も各自で練習しています。選手もマネージャーも全員が野球が大好きでとても仲が良く、新入生歓迎会や新入生歓迎試合、夏にはバーベキューや花火、冬には忘年会や新年会楽しいイベントもたくさん行っています。私たちは東北地区のリーグに加盟していて、春と秋にはリーグ戦があり毎年楽しく試合をしています。最近ではチーム全体の士気も能力も上がってきており、とても良い試合をするようになっていきます。学園祭では屋台でそばめしを出していて、食べてくださったみなさんがおいしかったと言ってくれるほどのできで、とても人気があります。このように「真面目で楽しく」をモットーにしているのが私たち準硬式野球サークルです。



サークル

あの感動を再び!! —東北文化学園混声合唱団—

5号館1階教職員食堂から素敵なハーモニーの歌が毎週水曜日と金曜日の夕方聞こえてくる。東北文化学園混声合唱団の皆さんが第九コンサートに向けて練習している風景だ。団員は20名、総合政策学科の学生中心に各学科から参加している。団長の菅原優紀君（総合政策学科3年）と副団長の佐藤仁紀君（総合政策学科3年）に活動状況と第九コンサートに向けての意気込みを聞いてみた。

活動は、「気楽に」「楽しく」をモットーに行っているとのこと。第九コンサートのほかに学園祭やクリスマスコンサートでも歌い、必要に応じてボランティア活動でも歌っているとのことだ。昨年、東北大学川内萩ホールで行われた仙台フィルハーモニー管弦楽団との第九コンサートでの感動が忘れられず、今年も全力で取り組むことを誓い、一流の音楽家の指導者の下、日々練習に取り組んでいますと快活に話してくれた。そんな団員の皆さんは静かなながらも強い決意が感じられ、歌声と共に輝いていた。



理学療法学専攻の社会貢献

医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 講師 三木 千栄

平成22年度から、理学療法学専攻として一般高齢者の介護予防事業に取り組んでいます。これは国見地域包括支援センターからの依頼から始まったようです。この包括支援センターの範囲、第一中学校区内の3つの小学校区の一つずつ住民主体の運動自主グループを作ることを目標にし、転倒予防教室を開催してきました。やっこのこと、昨年度末に目標の3つめのグループが自主化しました。

しかし、最後に組織されたグループはまだ軌道には乗れず、ギクシャクしているようです。グループを作るうえで困難なことは、リーダーの存在を見つけることです。そのために、数名で責任を分担することでリーダーを承諾しやすくすることや、運動のDVやビデオを作製し運営しやすくすること等の工夫が必要でした。また、世話役だけするから、皆さん方で運動してくださいという方はリーダーとして適さないようです。

今年度は、3つのグループの継続支援を包括支援センターと協働して行う予定です。各会場で体力測定を実施することや、各リーダーの交流会を企画しています。各

グループの現状と課題を話し合い、今後の私たちの支援の方向が決まればと思っています。

昨年度末から、老人クラブの会長から「小さいけど集会所があるので、遠くの会場に行けない人も身近なところで参加できる体操の会を作りたい」と協力依頼がありました。7～8人集まり、大学のスタッフ2名程度が参加すると丁度いい加減の会場です。今年度も継続して支援し、自主グループへ向けて運動教室をしています。

大学周辺で、本学、本専攻、理学療法士、また個人として地域の資源であると住民の方々に認識していただけるよう活動しています。同窓生の皆さんも、地域社会の資源として活躍されていると思います。



「学ぶ心」

平成15年3月／科学技術学部環境計画工学科卒業
建築環境学科 助手 井城 依真



第1期生として入学し、卒業してから9年近くが経ちます。もう9年も経つのかと思うと不思議でなりません。当時を思い返すと、先輩がいなかった分、様々なイベント等において仲間達と一から企画しチャレンジしていった大学生活だったことを思い出します。この経験は現在でも生かされています、当時は学生の成長と共に大学も成長していくという感覚がより強いものであったなと思います。

私は建築に関する仕事に就きたいという思いで大学に入学しました。大学4年次のゼミ活動で「建物のエネルギー消費削減」に関する研究に興味を持ち、これに関連する研究を行いたいという向上心をきっかけに大学院に進学し、修士課程を修了後、博士課程へと進みました。博士課程では国家プロジェクト的に全国の大学が連合した建物のエネルギー消費量の調査に参画し、「業務用建築物のエネルギー消費特性」をテーマとした研究に取り組み、これらの成果を博士論文として纏め、去年漸く博士号を取得するに至りました。大学院では国内外における数々の学会等での研究報告にも参加することができ、今後においても素晴らしい経験ができたと感じています。

現在は東北文化学園大学建築環境学科で教員として勤務しております。私にとって後輩学生の教育を行うことは感慨深いもので、どのような教え方をすれば理解してもらえるか常に心がけ教育に当たっております。教育の他にも、研究活動や様々なイベント業務を並行して行う毎日ですが、常に「学び」という意識を大切に、仕事に取り組んでいます。

最後に、在学生の皆さん。大学生活4年間というのは、長いようであっという間に過ぎます。なので、何かを行うことに迷うことがあったら、是非チャレンジして下さい。その経験が社会人になった時、大いに役に立つかもしれません。一瞬一瞬を大切に、目標を持って勉学に励んで下さい。

学生と教員

平成19年3月／科学技術学部コンピュータサイエンス学科卒業
知能情報システム学科 助手 佐々木 俊介



平成19年に第5期生として卒業し、早いもので7年が経ちました。出身は秋田ですが、情報工学に興味を持って東北文化学園大学に入学して様々な分野について興味を持ちながら学ぶことができました。在学中には卒業研究で石田研究室に配属された仲間たちと一緒に勉強したり飲んだり遊んだりしたことが一番楽しい思い出として残っています。また、大学院時代には研究会に参加するために初めて北海道に行ったことも楽しい思い出として残っています。時間とお金に余裕がなくて、折角の北海道も研究会会場の千歳以外を見学することが出来なかったのが残念ですが、北海道の雄大な自然を肌で感じる事が出来ました。今振り返ると決して優秀な学生ではなく、先生方にはご迷惑をかけてばかりだったと思いますが、大学院の2年間、特別研究生、専門学校での非常勤講師などを経て、現在は卒業した学科に助手として採用して頂き、2年目を迎えています。

教える立場になって、学生時代にはまったく気づかなかった先生方の苦労を知り、教えることの大変さを身にしみて感じています。学科では教育のみならず、学科広報やオープンキャンパスなども担当しています。本学のオープンキャンパスは日曜日に開催されるので、日々の教育の準備に加え、日曜日のオープンキャンパスの準備や実施に追われ、特に学期の終盤ともなる7月は休日もなく仕事はきついのですが、オープンキャンパスに沢山の高校生が参加してくれた時には仕事をやり遂げた後の充実感も感じている今日この頃です。多忙ではありますが、日々の仕事を社会人の糧としてこなしながら、新たな資格などにも挑戦して仕事の幅を広げてゆきたいと思っています。

同窓生の皆さんには学園祭などでは是非大学に遊びに来てほしいと思っています。皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

～恩師から～

退職に寄せて

科学技術学部 人間環境デザイン学科元教授
田原 靖彦 (東北文化学園大学 名誉教授)

今から14年前の1999年4月、30年間務めた清水建設(株)を早期退社して、期待と不安を胸に東北文化学園大学の教員として新たなスタートを切ったことが昨日のように思い出されます。“光陰矢の如し”という月並みな格言が、正に、今の私の実感と言えます。

企業から来た私にとって、大学での仕事は文化も異なって戸惑うところも多々ありましたが、幸いなことに開学時からお世話になっていたのも、最初は1年次生しかいなくて授業も少なく、徐々に仕事が増える間に、大学の仕事にも馴染んでいくことが出来たように思います。



私の専門領域は音響学ですので、本学在籍中には「コンサートホールの響きの質の評価」、「1/16スケール室内音響模型実験手法」、「音環境が脳波に及ぼす影響」等に関わる研究に従事しました。何れも、それまで未開拓の領域でしたが、皆様のご協力を得てそれなりの研究成果を得ることができ、論文誌等への投稿も行いました。

14年間の在職中には、学科長、学部長、入試実施委員会委員長、学生委員会委員長、禁煙委員会委員長など、組織運営に関わる責任ある役職を経験する機会を与えて頂きました。加えて、2004年の本学の危機の折には、「緊急対策委員会委員長」という、正式な記録には残らない幻の役職も体験しました。

以上、東北文化学園大学でお世話になった14年間のことをとりとめなく述べてきましたが、総括すれば、私にとって本学は素晴らしい職場であったと言えると思います。種々の葛藤はあったけれど、学科教員の皆様とは充実した仕事が出来たし、学生とも授業・研究・生活指導等を通じて新鮮且つ有意義な交流が出来たように思います。また、本学の事務職の方々には、各種委員会業務や日常の研究・教育活動等を通じて、随分とサポートして頂いたように思います。本学は実に事件の多い職場で、その都度一喜一憂はありましたが、今、本学での職務を無事全うできたことを、大変喜ばしくまた誇らしく思う次第です。

文化学園祭開催のお知らせ

テーマ「Color☆Full～カラフル～」

開催日: 平成25年10月19日(土)、20日(日)

文化学園祭実行委員です。今年のテーマは『Color☆Full～カラフル～』です。これには一人ひとりの色を大切にしていこうという意味が込められており、この方針に基づいて日々活動をしています。今年は芸能人企画を実施し、お笑いライブを行う予定です。いつも以上に豪華なライブにするので期待してください。また、生徒たちによる屋台出展やステージでのライブ、そして学科ごとによる研究発表などがたくさんあります。今年は生徒への呼び掛けを強くすることにより、屋台のブース数を増やす予定なので、より盛り上がりを見せられると思います。実行委員では、テーマのイメージに因んで、例年以上に学内装飾に力を入れているので、学園祭全体の雰囲気も華やかに感じられるはずです。最終日の夜には花火を打ち上げ、文化学園祭の最終日の夜を彩ります。来場者の方々に楽しんでいただくために、実行委員一同、精一杯努力していくので、ぜひ「文化学園祭2013」に足を運んでみてください。よろしく願います。

文化学園祭実行委員長 慶長 健允(科学技術学部知能情報システム学科3年)



2012.10.21